

北の逸品インフォメーションバザール in Tokyo 2015 へ出展参加

(社会連携推進センター)

9月2日(水)、3日(木)の2日間、池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4階を会場に開催された北洋銀行・帯広信用金庫主催の「北の逸品インフォメーションバザールin Tokyo 2015」に出展参加しました。本イベントは北海道の加工食品や農産物等を首都圏に紹介し、市場における販売ルートの開拓や販路の拡大を目指す実践的な商談会で、商品開発にむけたニーズ収集、首都圏バイヤーとのネットワーク構築などを目的とした事業で、来場者が4,000人を超える大規模な商談会です。

本学は工農人材育成事業の成果発表の場として参加し、受講生が試作品の試食アンケートを行って今後の商品化へとつながる情報を得ています。また、工農事業の受講生でもある「農業法人有限会社香遊生活」、「株式会社北見ハッカ通商」も本イベントに参加しました。「株式会社東京農大バイ

オインダストリー」や、東京農業大学が本学と同様の地域再生人材育成事業を実施した際の受講生等が立ち上げた「NPO法人創成塾」、北見市、北見観光協会、商工会議所も参加しており、産学官連携で地域と地域商品のPRを行いました。

鹿児島銀行等が主催する「南の逸品商談会 in Tokyo 2015」も同会場で開催されており、南北の特産品のコラボレーション等も期待されました。受講生にとっては、自らが開発した商品の販売ルートの開拓や販路の拡大を目指すだけでなく、新たな開発に向けた情報共有とネットワーク構築に向けて価値のある場となりました。本学が地域貢献や指導的立場で本事業へ参加することは、今後のシーズ発掘や工農事業におけるマネジメントの観点からも、有効であると考えています。



工農事業により開発した商品群



試食アンケートの様子